

橋岡會別會慶祝能會

橋岡久太郎

還曆祝

橋岡伸明

半白祝

能「高砂」後

シテ 橋岡 久太郎

ソキ 福王 和幸

地謡 橋岡 伸明

仕舞「小袖曾我」

シテ 安達 修子

仕舞「三輪」

シテ 梅若 修一

狂言「悪太郎」

シテ 野村 太一郎

能「江口」

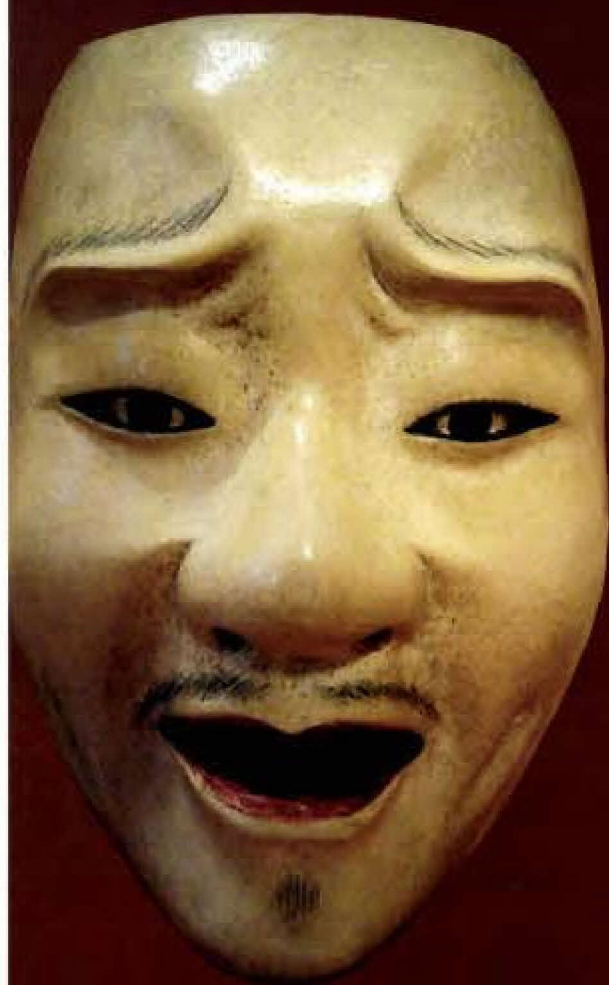
シテ 橋岡 伸明

ツレ 土田 英貴

ツレ 宮内 美樹

ワキ 福王 和幸

地謡 荒木 亮



能面「御郷男」山口義法作

令和元年 (2019年)

11月12日(火)

午後3時開場 レストラン「向日葵」及び中庭にて、
遠州茶道宗家 呈茶及び

ウェルカムシャンパン(ドン・ペリニヨン)あり。

午後5時開演

場所 千駄ヶ谷・国立能楽堂

電話 03-3426-1331

チケット申込先

橋岡會事務所 090-7816-7745

橋岡伸明 090-2404-8513

Mail : hashi007nobu@gmail.com

SS席

12,000円 (正面前列)

S正面

10,000円 (正面中より後方)

S脇正面

10,000円 (脇正面前列)

A脇正面

8,000円 (中正面)

B中正面

6,000円 (中正面)

学生・外国人

2,000円

ごあいさつ

ようこそ橋岡會別會にお越しくださいました。
本日は、私が能「高砂」後を弟の伸明が能「江口」を
勤めさせて戴きます。

人間国宝の小鼓大倉流宗家、大倉源次郎師をはじめ
当代一流の出演者によります能、狂言を御堪能頂け
れば幸甚に存じます。

御来場に感謝とともに御礼申し上げます。

令和元年十一月十二日吉日

九世 橋岡久太郎



「今宵は遊女の謡ふ舟遊」

今宵の舟遊びは、いいものにて候

まづは、遠州茶道宗家の御呈茶

御菓子、好みの赤坂・塩野

正客の御菓子器のみ、野田とし子

御神酒(ドン・ペリニヨン)に舌鼓

お舞台も悪太郎は太一郎

高砂は住吉へ、江口は淀川を巡り

高砂の神舞が、爽やかな薄茶(初の森)ならば

江口の序ノ舞は、ねっとりとした濃茶(一玄乃白)

そして、お舞台でのお供ご案内は、私ども遊女が心を籠めて

勤め申し候ゆえ、皆様お帰りの頃には

住吉明神様と普賢菩薩様をご覧いただけることと思ひ候

江口の里の遊女 橋岡伸明

プログラム

連吟「幸代乃薫」

安達修子
橋岡伸明
江本知正
齊藤和則

仕舞「小袖曾我」

シテ 安達修子
ツレ 宮内美樹
地謡 橋岡伸明
坪内菟路之
荒木亮
岩崎哲也
齊藤和則

仕舞「三輪」

シテ 梅若修一
地謡 岡田晃一
梅若雅一
山中逐晶

狂言「悪太郎」

シテ 野村太一郎
アド 深田博治
小アド 中村修一
後見 飯田豪
働き 石田淡朗

能「高砂」後

シテ 橋岡久太郎
脇 福王和幸
脇ツレ 村瀬提
脇ツレ 矢野昌平
笛 藤田貴寛
大鼓 亀井洋佑
小鼓 大倉源次郎
太鼓 小寺真佐人
後見 梅若修一 岡田晃一 梅若雅一
地謡 齊藤和則 山中逐晶
安達修子 坪内菟路之
岩崎哲也 橋岡伸明
土田英貴 荒木亮

能「江口」

シテ 橋岡伸明
ツレ 土田英貴
ツレ 宮内美樹
ワキ 福王和幸
脇ツレ 村瀬提
脇ツレ 矢野昌平
アイ 高野和憲
笛 成田寛人
大鼓 大倉栄太郎
小鼓 幸正昭
後見 梅若修一 岡田晃一 梅若雅一
地謡 齊藤和則 山中逐晶
安達修子 荒木亮
岩崎哲也 坪内菟路之

(休憩 25分)

(21時頃終了予定)

解説

連吟「幸代乃薫」

おめでたい行事や御祝いに橋岡伸明社中でよく謡う短い小謡。

仕舞「小袖曾我」

曾我の里にいる母を曾我十郎祐成と五郎時致兄弟が訪ね、父河津三郎の仇討ちをすることを伝え、門出の盃を交わし、兄弟は名残の舞を舞います。

仕舞「三輪」

三輪山の麓の杉木立のなか、現実の世界から、魔法にかけられるかのように、だんだんと、不思議なあちら側の世界へ足を踏み入れていきます。

梅若修一師の燦し銀の舞をご堪能ください。

能「高砂」後

友成の一行は、松の妖精の老夫婦の後を追って、月の出とともに小舟を出し、高砂の浦から一路、住吉へ向かいます。住吉の岸に着くと、男体の月下の住吉明神は、神々しく颯爽と舞い、悪魔を払いのけ、君民の長寿を寿ぎ、平安な世を祝福する舞を舞います。

狂言「悪太郎」

乱暴者の悪太郎は、酒を飲むことを非難する伯父を脅してやろうと、長刀を携えて出かけていく。ところが、そこでも散々酒を飲み、良い機嫌になると、帰る道すがら寝込んでしまう。

悪人正機（悪人こそが仏に救われる対象であるということ）をユーモラスに描きます。

上演時間40分を越える大曲です。野村太一郎師の熱演にご期待ください。

能「江口」

旅僧が摂津の国江口の里で遊女江口の君の旧跡に立ち寄り、昔西行法師が宿を断られ「世の中を厭うまでこそ難からめ 仮の宿りを惜しむ君かな」と詠んだ和歌を口ずさむと一人の女が現れ「法師さまを遊女の里に泊められなかったの」と弁解し、自らが江口の君の幽霊と名のり姿を消す。僧が夜更けに江口の君を弔っていると月夜の川面に屋形船に乗った江口の君が現れ昔の船遊びの様子や遊女の境涯を述べた舞を舞い、やがてその姿は普賢菩薩となって西の空へ消え去っていきます。

能の中でも艶めかしい文章としっとりした風情で楽しむ秋の名曲です。

子打ち
そば
いっしょ



蕎麦の里と言われる金砂郷
最上級の蕎麦粉を
使った打ちたての蕎麦を
ご堪能ください

〒305-0018 茨城県つくば市金田2177-2 電話 029-857-4140
11:30~20:30(売切れしだいあり) 月曜定休(祝日営業、翌日休み)

上生菓子

繊細な造作と色鮮やかな上生菓子は
季節毎に趣を変え、一つ一つ心を込め
て作り上げております。



干菓子

四季折々の花鳥風月を素材の持ち味
を生かしながら、一つ一つ色彩豊かに
作り上げております。甘さが主張し
すぎず風味がよく、口の中で心地よ
くほどけるよう仕上げております。

干菓子司
塩野